

Viva Brasil★

平成23年度 ブラジル通信
10月1日(土)~10月7日(金)
No. 5
発行者：宮本 朋子

アサイーにてパラナ芸能祭開催

10月2日(日)に、パラナ州アサイー市にて、第29回パラナ芸能祭が行われました。日本の伝統文化を大切に、継承していくことを目的として、年に1回開催されています。第1回目をマリンガ市で行い、昨年度はクリチバ市、そして29年目の今年はアサイー市での開催でした。このアサイー市は、日本ととても深い関係のある町で、1930年頃日本移民によって開拓され、当時「旭」と名付けられていたそうです。その後、今の『Assai』という名になったという歴史があり、現在も多くの日系人の住む町として知られています。坂の多い田舎町ですが、日本名をたくさん目にする事ができ、日本を感じられる町です。



アサイ照真寺

立派な鐘楼もありました

パラナ芸能祭には、パラナ州の各都市に住む日系人が参加しており、日本舞踊や歌、和太鼓など全63組の発表がありました。ほとんどの出演者が60歳~80歳くらいの高齢者ばかりでしたので、ブラジルの地に根付いた日本文化を絶やさぬよう、もっと若手を育成して行ってほしいと思いました。

やっと到着！4時間かかりました



まわりは日系人がいっぱい！



踊りだけでなく、衣装もすてきでした

パラナヴァイ市の若い女の子たち

Maria Madelena Fernandes de Souza 訪問

パラナヴァイ市の管轄にあるマリア幼稚園に招待され、訪問してきました。4つのクラスをもつこの幼稚園は、1歳半~2歳半と3歳の2クラスは保育所としての役割をもち、4歳と5~6歳の2クラスが幼稚園となっており、絵をかいたり、はさみを使って物を作ったり、字を書く練習などをしていました。午前7時半~午後6時まで子どもを預かってくれ、初等学校と同様に全て無料。今の市長になってからは、4歳以下の子どもをもつ親(通園していなくてもよい)に毎日牛乳を無料で配ったり、毎月R\$1000を幼稚園に配当したりしてくれているそうです。ただ待機児童も多いため、子どもがお腹にいる時から入園の申し込みをする親もいるといいます。また、園長のほか、先生は3人だけで、あとは全員大学生が100人の幼児をみていると聞き、とても驚きました。

子どもを一番に考える園長は人気者でした。



勉強楽しいよ！

みんなが大好きな園長先生



歌や踊りを披露してくれました



私のために全員で歓迎会★



Obrigada!

Garoto 工場見学

ブラジルといえば、『ガラナ』という飲み物が有名です。パラナヴァイ市にもガラナを作っている工場があると聞き、garoto というメーカーの工場見学に行ってきました。



炭酸飲料水を作っています



1952年に設立された garoto は、当時5人の従業員が手で混ぜて1日12本のジュースを作っていました。1960年には工場内が機械化され、ガラナ以外のジュースも作れるようになり、1日7200本を製造。現在は、186人の社員が働いており、1ヶ月に300万本製造できるようになりました。パラナ州、南マットグロッソ州、サンパウロ州で販売されていますが、残念ながら日本では手に入れることはできないそうです。



工場では、16種類のジュースを作っていて、人気 No.1 はやっぱりガラナだよ。No.2 はオレンジ、No.3 はコーラです。日本のみなさんにもぜひ飲んでほしいです。



この試験管みたいなものが、ペットボトルのもとです



大変身!

温めてから空気を入れてふくらませるとペットボトルになります



ふたを閉めて...



ガラナが入っていきます



ラベルを貼ったら...

糖度を調査すると...



水0度



1日でトラック1台分(15トン)の砂糖を使うよ

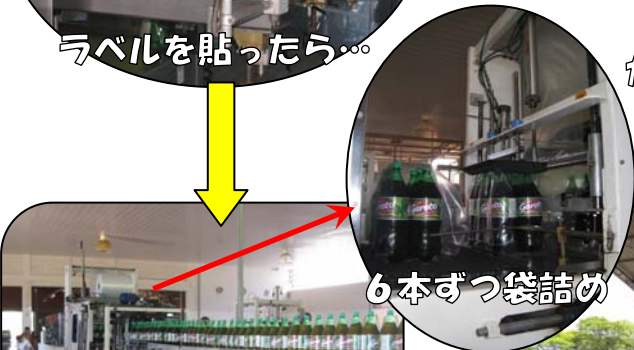


ガラナ10度

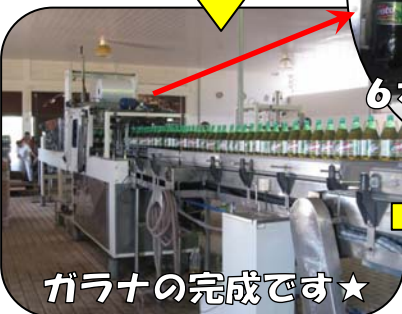
栄養飲料12度

ガラナゼロ1度

夏の時期は、平日の夜や土曜日でも機械を動かして作るよ



6本ずつ袋詰め



ガラナの完成です★



いってらっしゃい♪



工場排水は浄水して流しています

SESC本部訪問

10月12日(水)はDia das Crianças(子どもの日)ということで、SESCにてRua de Recreio(娯楽通り:以前は町の通りで行われていたことから、この名前が付いているそうです)がありました。トランポリンや巨大すべり台、竹馬、ボーリングなど、子どもたちが遊べる遊具がたくさん設置され、いろいろな学校の子同士が仲良く遊んでいました。

通信第2号でも紹介したように、SESCでは様々な活動が行われています。そこで、詳しい話を伺いに、SESC本部を訪問しました。

ブラジルにあるお店は8%のお金を国に納めています。そのうちの0.01%のお金でSESCがつくられているのです。そのため、お店をやっている人は安い金額で利用することができます。パラナ州には、27の施設があり、歯医者や学習教室、娯楽室、トレーニングジムなどが設置されています。その他に、38ヶ所のホテル(ブラジル全土)があり、最近ではリオデジャネイロに寄宿学校もつくられました。入試に合格すれば各州7人まで入学することができ、3年間無料で勉強できるという、とても魅力的な学校です。



順番にトランポリンでジャンプ



高いところからシュー!

パラナグアイ市の入会者は8000人



また、貧しい人や高齢者、教育のためにも利用できるよう考えられているため、今回のような遊び場を無料で開放しています。日本から帰国する子どもたちに、日本語やポルトガル語を教える教室の設置をお願いしましたが、基本は貧しい人を対象としているため、必要とする人がたくさんいなければ難しいそうです。



英語や補習をする教室



歯医者さんがあるのには、びっくり!



お年寄りがゲームを楽しんでいました



いろいろなトレーニングマシンが揃っています



ぷらっとブラジルク・イ・ス!

ブラジルの子どもたちが、右の写真のようなことをして遊んでいました。何をしていたのでしょうか?

- ①つめみがき
- ②手話
- ③じゃんけん



答え: ③(『Par ou Impar』という遊びで、じゃんけんのように勝ち負けを決めたりする時にやります。)

《Par ou Imparの遊び方》

- ①Par(偶数)とImpar(奇数)を決めます。
- ②1本~5本のどれかを一緒に出します。
- ③2人の合わせた指の本数が偶数ならParの勝ち。奇数ならImparの勝ち。

※左の写真は、黒い服の人がParで手前の方がImparです。3+1=4なので、Parの勝ち。